

不動産業業況等調査（2021年4月）^{*1}

● 現在の経営状況^{*2}

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	1.9 p	7.5 p ↑
不動産流通業（住宅地）	△ 12.5 p	2.6 p ↑
ビル賃貸業	△ 18.5 p	4.6 p ↑

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	5.8 p	26.2 p ↑
不動産流通業（住宅地）	△ 18.3 p	13.8 p ↑
ビル賃貸業	△ 25.9 p	△ 0.9 p ↓

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 7.5p 改善し 1.9p。5期ぶりのプラス水準。

不動産流通業は前回から 2.6p 改善し ▲ 12.5p。8期連続のマイナス水準。

ビル賃貸業は前回から 4.6p 改善し ▲ 18.5p。3期連続のマイナス水準。

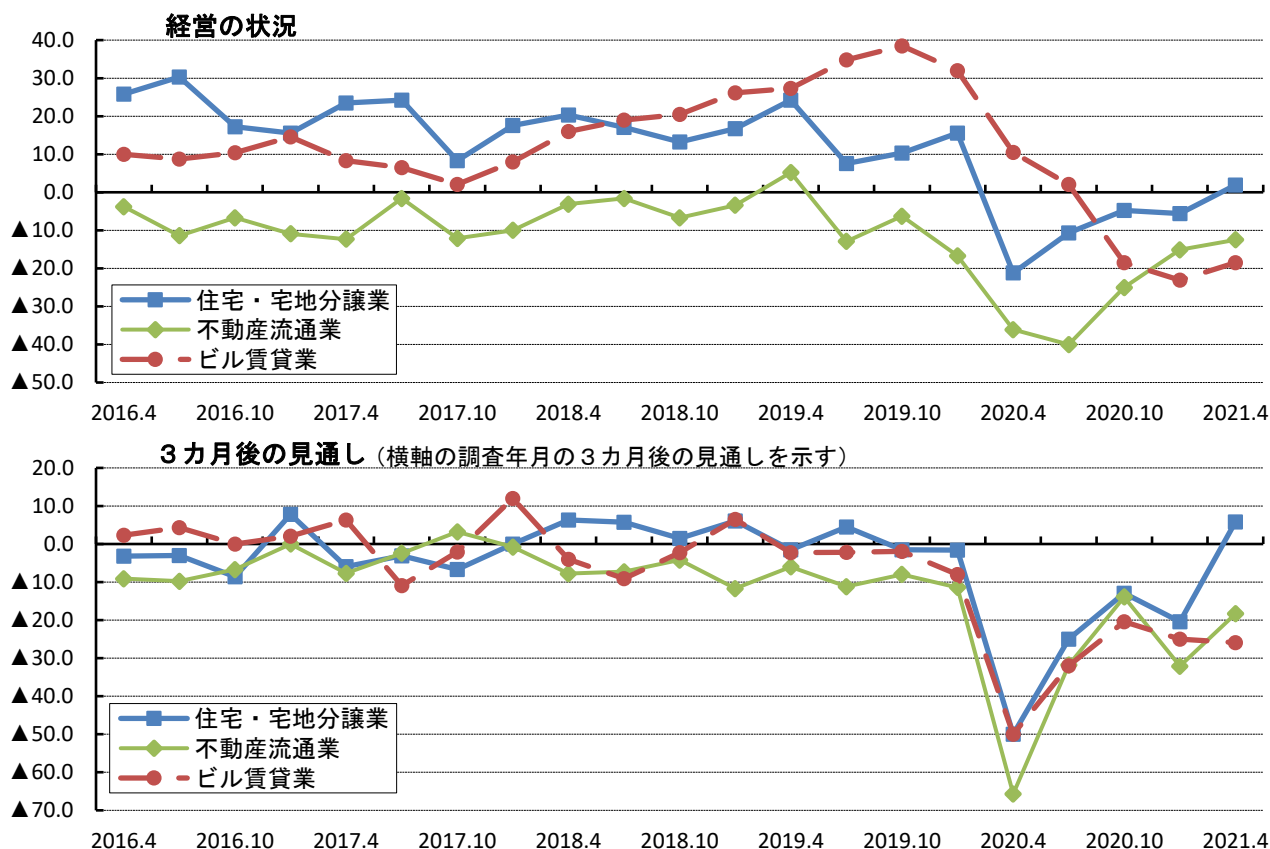
3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業および不動産流通業で改善、ビル賃貸業で悪化。

^{*1} 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。

調査時期は毎年1、4、7、10月。

^{*2} 経営の状況＝{（「良い」×2＋「やや良い」）－（「悪い」×2＋「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

^{*3} 3ヶ月後の見通し＝{（「良くなる」×2＋「やや良くなる」）－（「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100
（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果（pdf）ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第102号「不動産業業況等調査」